

令和4年度認知症総合支援事業 事業計画



認知症サポーターキャラバン

高梁市地域包括支援センター

令和4年度認知症総合支援事業 計画

月	内 容	年間実施
6月	認知症サポーターステップアップ講座①（希望者） 6月16日(木) 認知症サポーターステップアップ講座②（希望者） 6月30日(木)	85歳以上高齢者の実態把握・認知症地域支援推進員による個別支援・認知症初期集中支援チーム派遣
7月	認知症研修会（認知症カフェ連絡会、キャラバンメイト連絡会、家族介護者交流事業の合同開催）：7月13日(水)	
8月	広報8月号、民生委員会にて「アルツハイマー月間」について広報チームオレンジ布瀬立ち上げ予定	
9月	アルツハイマー月間：認知症理解推進キャンペーン 認知症サポーター養成講座（一般市民向け）9月26日(月) 家族介護者交流事業 9月28日(水)	
10月	認知症サポーター養成講座（市職員予定）	
11月	第2回認知症施策検討委員会：11月29日(火) 認知症高齢者声かけ訓練⇒検討中	
1月	認知症カフェ連絡会：1月30日(金) 本人ミーティング開催⇒検討中 本人向け認知症ケアパス完成	
2月	民生委員会にて「高齢者のひとり歩きに声かけ」「高齢者虐待防止」協力依頼 第3回認知症施策検討委員会	

希望者向け 認知症サポーターステツプアップ講座の開催

オレンジサポーター16名養成



1回目：6月16日



2回目：6月30日

認知症研修会（7月13日）

（認知症カフェ連絡会・キャラバンメイト連絡会・家族介護者交流事業の合同開催）

講演：兒玉医師
「認知症の人との接し方
～ちょっと楽に付き合うコツ～」



グループワーク
認知症の人を地域で支えるために出来ること
困ったときにどのようにSOSを出す？

今年度の重点目標

1. 支援困難となりがちな家族や地域と疎遠な独居高齢者の実態把握の強化
2. 認知症の正しい知識の普及啓発
認知症初期集中支援チームの強化
3. チームオレンジの構築
4. 本人が発信できる場の整備

1. 独居高齢者の実態把握強化

【取組内容】

市内の85歳以上の独居高齢者の実態把握を積極的に行い、家族や地域と疎遠な高齢者を早期発見する。

2. 認知症の正しい知識の普及啓発 認知症初期集中支援チームの強化

【取組内容】

- ・ 9月アルツハイマー一月間における認知症理解推進のための啓発活動、認知症サポーター養成講座や介護予防出前講座の積極的開催
- ・ 相談があった時にタイムリーに支援できるようにチーム員の体制整備

3. チームオレンジの構築

【取組内容】

- ・ 認知症サポーターステップアップ講座によるオレンジサポーターの育成
- ・ チームオレンジとして活動するための基盤づくり

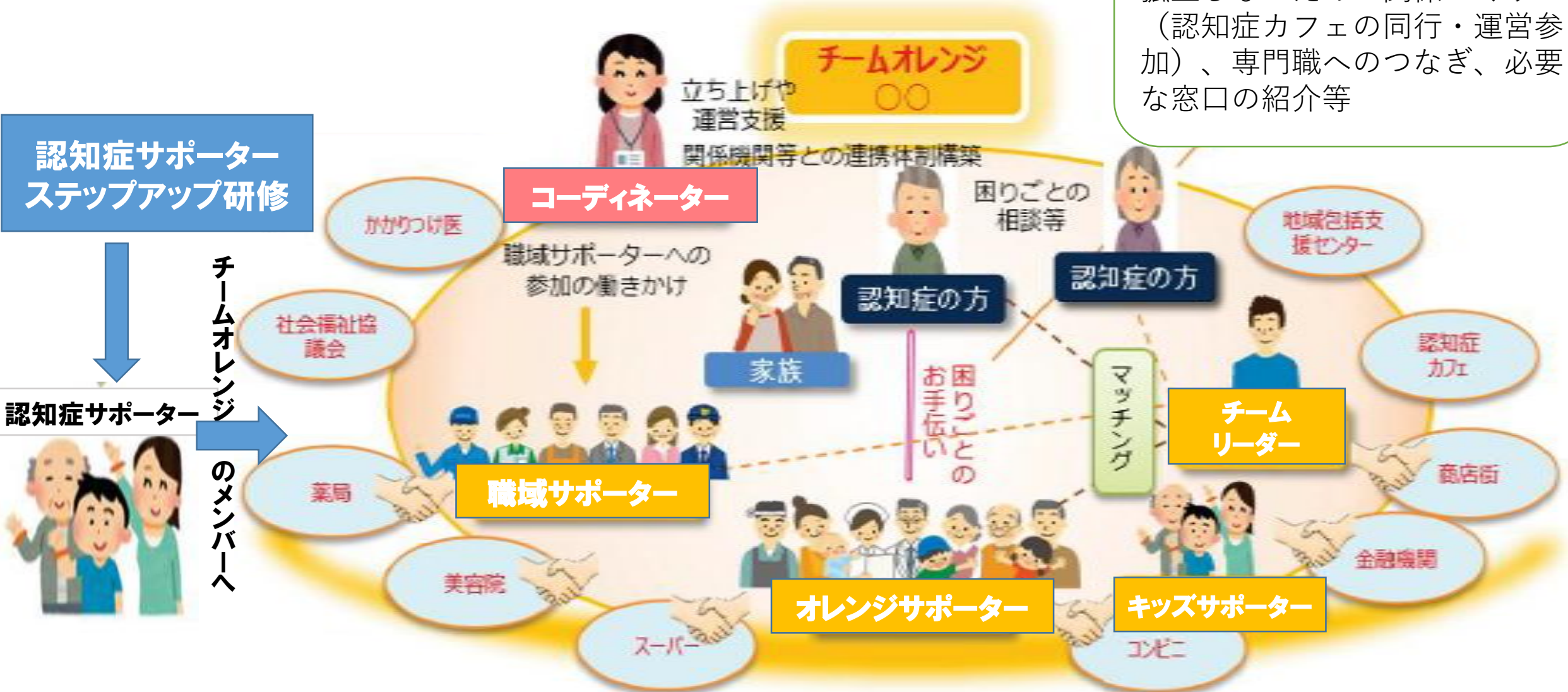
チームオレンジの基盤づくり 1

☆チームオレンジとは

- ・ 『認知症早期の空白期間』の悩みや困りごとに対して、チームを組んで支援するもの
- ・ 認知症サポーターがステップアップ研修を受講してチームのメンバーとなり、チームを組んで活動する。

チームオレンジの基盤づくり 2

見守り・声かけ、話し相手、外出支援、ボランティア訪問等、孤立しないための関係づくり
(認知症カフェの同行・運営参加)、専門職へのつなぎ、必要な窓口の紹介等



認知症サポーター
ステップアップ研修

認知症サポーター



チームオレンジ
のメンバーへ

コーディネーター

チームオレンジ
〇〇

立ち上げや
運営支援
関係機関等との連携体制構築

困りごとの
相談等

職域サポーターへの
参加の働きかけ

認知症の方

認知症の方

家族

お困りごとの
お手伝い

マッチング

チーム
リーダー

地域包括支
援センター

認知症
カフェ

社会福祉協
議会

薬局

美容院

スーパー

職域サポーター

オレンジサポーター

キッズサポーター

商店街

金融機関

エビニ

4. 本人が発信できる場の整備

【取組内容】

- ・ 本人ミーティングの開催
- ・ 本人向け認知症ケアパスの作成

本人ミーティングとは・・・

認知症の本人が集い、本人同士が主になって、自らの体験や希望、必要として
いることを語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい
地域のあり方を話し合う場

本人の視点重視へ（新しい方針）

- ① 本人の意思・生き方・生活を重視
- ② 何事も本人と決める
- ③ 本人の力を重視・可能性重視
- ④ 本人が支え手として活躍
- ⑤ 本人が地域に出る
- ⑥ 初期から最期までよりよく生きる
- ⑦ 多様な人がつながり一緒に歩む

* 古い方針は、本人の声を抜きで決定していた。

身近な本人の声を 聴くことからはじめよう

- 地域活動の中で⇒ 町内会、老人クラブ、健康教室
- 地域の通いの場で⇒ コミュニティカフェ、認知症カフェ、
サロン、介護予防教室、
- 医療機関で
- 介護保険サービス事業所で

本人の声を起点に、認知症になっても暮らしやすい高梁市を目指そう。

- ・ 認知症カフェの充実
- ・ チームオレンジの構築
- ・ 本人ミーティングの開催に向けて
ひとりひとりの声を大事に。人と人をつなぐ活動を

令和4年度

アルツハイマー月間の取組について①

認知症理解推進キャンペーンパネル展示

9月15日（木）～9月22日（木）

内容：認知症に関するPR、のぼり作成
オレンジガーデニングプロジェクト写真展示
DVD放映（認知症カフェの紹介、R3行政放送 等）
特殊詐欺・防犯への普及啓発
物忘れ相談会
竹田式三色組合せテスト 等

令和4年度

アルツハイマー月間の取組について②

行政放送の番組作成

内容

認知症〇×クイズ

(解説：兒玉医師、薬剤師予定)

対応方法

サポーター養成講座で活用できる寸劇

⇒認知症施策検討委員へ協力依頼

認知症普及啓発ポロシャツ



令和4年度

アルツハイマー月間の取組について③

認知症サポーター養成講座（一般市民向け）

日時：9月26日（月）10：00～11：30

場所：高梁市文化交流館

認知症を知るフェア

図書館で「認知症の本コーナー」の設置

書店で「認知症の本販売フェア」の実施